

先週末までのマーケット動向(3月7日~3月11日)

為替、株式

	Open	High	Low	Close	Chg
USD/KRW	1,219.0	1,238.7	1,219.0	1,232.0	+17.8
JPY/KRW	10.6055	10.7240	10.5502	10.5606	+0.050
KOSPI	2,680.17	2,682.79	2,605.81	2,661.28	▲52.15

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場は大幅に上昇した。ロシアによるウクライナの原発への攻撃等、週末にリスクセンチメントが悪化し、7日にドル/ウォンは1,219.0ウォンでオープン。戦争長期化への懸念や原油価格の高騰でリスクオフモードは止まらず1,230ウォンに迫った。翌8日も海外時間に米国がロシア産原油の禁輸措置を検討との報道を受けてコモディティ価格は更に急騰、米株は大幅下落とリスクセンチメントは悪化の一途を辿る中、ドル/ウォンは1,238.7ウォンまで上昇した。祝日明けの10日こそOPECの増産期待による原油価格急落が投資家心理の改善に繋がり、1,220ウォン台半ばまで下落する場面があったものの、週末には進展の無いウクライナ情勢や翌週のFOMCが意識される中でドル買い優勢の展開となり、1,230ウォン台前半での底堅い推移となった。結局先週末対比17.8ウォン上昇した1,232.0ウォンでクローズ。

今週の見通し

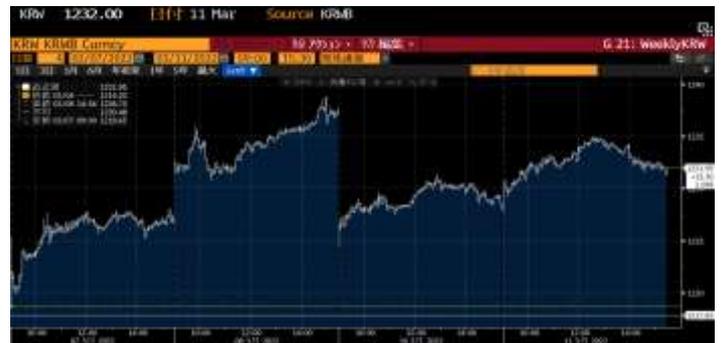
今週のドル/ウォン相場はやや軟調な展開を予想する。先週末には再びリスクオフ地合いとなって引き続きウクライナ情勢の動向が警戒されているものの、当局者による事態好転に向けての前向きな発言も聞かれている。数日内とされるロシア、ウクライナの4回目の停戦協定を控えて、停戦に向けた思惑で一旦はリスクオフ地合い後退となるか。16日のFOMCについては市場の予想通り25bpの利上げとなるとドル/ウォン相場への影響は限定的となろう。

予想レンジ

USD/KRW	JPY/KRW	USD/JPY
1220 ~ 1245	10.35 ~ 10.65	116.5 ~ 118.5

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

* USD/KRW chart (source: Bloomberg)



* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)



今後の予定

- 15日(火) 米 3月 NY連銀製造業指数
米 2月 PPI
- 16日(水) 日 1月 鉱工業指数 確報値
米 2月 小売売上高
韓 2月 失業率
日 2月 貿易統計
米 FOMC 政策金利発表
- 17日(木) 米 3月 失業保険新規申請者数
米 2月 住宅着工件数
欧 2月 CPI 確報値
米 2月 鉱工業生産
日 1月 機械受注
- 18日(金) 日 2月 CPI
米 2月 中古住宅販売件数
日 BOJ 政策金利発表